

いつも当社システムをご利用いただきありがとうございます。
今月分の請求書をご査収の程よろしくお願い申し上げます。

株式会社ユニコーン
大阪市中央区大手通 1-1-2
TEL.06-6943-4560 FAX.06-6920-5311

いつも大変お世話になりありがとうございます。
暑さと寒さがいたりきたりしながら秋が過ぎて、冬らしい気温になってきました。皆さまいかがお過ごしでいらっしゃいますか。

大阪の街も紅葉が深まってまいりました。
いち早く桜の木の葉が赤く色づいて、イチョウも緑から黄色へと変化しはじめました。近所の天王寺公園の桜も、色づいた葉っぱを落として地面をカラフルにしていました。

公園の中に河底池という人工の池があるのですが、随分と水量が減っていました。今年は雨が少なかったのでしょうか。
この河底池には、カルガモやアオサギ、たくさんの亀や鯉が住んでいます。生き物たちに、せっせと餌やりをするおじさんに出会って…ダメな事なのでしょうが…我先にと群がる様子を見るとホッコリします。皆様のご想像通り、キレイとは言い難い水質なのに、数年前にはカワセミが住み着いていたことがありました。いつも写真を撮っている方が、「カワセミはここで子育てもしている」と仰っていたのですが、近年は見かけなくなっていました。

この河底池は、旧大和川や河内湖の治水対策と水運のために、788年（延暦7年）に和氣清麻呂が、のべ23万人を投じて開削しようとしたのですが、工費がかさんで失敗した跡地と言われているそうです。

公園周辺の堀越神社や堀越町という地名は、この工事の名残といわれ、周囲より土地が低く窪んだようになっています。

人の手で何kmも地面を掘って、川から直接、海までつなげようなんて、途方もないアイデアですね。

和氣清麻呂は、785年（延暦4年）には、神崎川と淀川を直結させる工事を行い平安京方面への物流路を確保したそうです。今の地図で見ると3キロほどの距離ですし、たぶんこの辺の地形からして、川から流れてきた土砂が体積してできた土地だろうと推測します。

打って変わって、河底池のあるこの辺りは上町台地といって固い岩盤で出来ています。神崎川と淀川の工事よりも、はるかに想像を超える難工事だったのではないのでしょうか。

今は沢山のビルが建ち並び、大勢の人が行き交う大阪の街。便利さを追求して、あらゆるものが手間なく簡単に手に入る時代をこうして生きているのですが、悠久の時を超えてもなお残る、人々が生き抜いてきた痕跡にロマンを感じる晩秋の一日でした。

2022年も残り一か月。今年も早かったですね。
皆さまますますお忙しいかと存じますが、どうぞ暖かく心地よくお元気で過ごしてくださいませ。



河底池。右のこんもりした森は茶臼山。
夏の陣での、真田幸村の本陣。



とても良いお天気でした。



睡眠中のカルガモを起こしてしまいました。



ここからずっと坂を下ると通天閣へ。



翌日は雨。濡れた葉っぱもきれいですね。

今月も最後まで読んで頂きまして、
ありがとうございました。
来月もよろしくお願いいたします。